

(様式5 実施結果の公表)

桜川市第2次総合計画後期基本計画（案）  
のパブリックコメントの実施結果

令和4年2月25日

桜川市市長公室企画課

## ■意見集計結果

令和3年12月22日から令和4年1月20日までの間、桜川市第2次総合計画後期基本計画（案）について、意見募集を行なった結果、2人から8件の意見の提出がありました。

これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考えをまとめましたので公表します。

提出方法の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人 数
直接持参	1人
郵便	1人
電子メール	0人
ファクシミリ	0人
その他	0人
合 計	2人

## ■意見の概要及び意見に対する市の考え方

### ○ 人口減少問題 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	本計画によれば、現状『市民一人あたりの借入金残高は、50万円』です。桜川市人口ビジョンで『将来の人口、1万人台』（2050年代）を予測する中であって、『一人あたりの借金額』を単純に増加させる『人口減少問題』は、喫緊の課題です。新たに項目を設けていただきたい。	1件	「市民一人あたりの借入金残高」については、単に借入金残高のみで類似団体等と比較せず、人口で除することにより、人口規模の観点からも金額を比較することができます。桜川市人口ビジョンの推計では、2055年頃に人口2万人を下回ると予測していますが、借入金残高についても、各種事業の精査を行いながら、「市民一人あたりの借入金残高」が増加しないよう慎重な財政運営を進めていきます。 また、人口減少問題についても、引き続き、桜川市の課題として取り組んでまいりますので、ご理解いただけますと幸いです。

○ 合併特例債 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	完成後の『上曾トンネル』は、県東西の交通の要衝となり、多くの県民が恩恵を受けます。当初の計画どおり『県の事業』が、当たり前のことです。『合併特例債』は、県のために使われるものではありません。『茨城県からの（維持管理費を含めた）合理的な財政の支出及び負担』を実現するための方策を本計画に入れて、前例にとらわれることなく、市民とともに取り組んでいただきたい。	1 件	<p>ご指摘いただきました「上曾トンネル整備事業」は現在、石岡市・桜川市の市道事業としまして、「社会資本整備総合交付金」および「地方創生道整備交付金」の国の交付金、「合併市町村幹線道路緊急整備支援事業」としての県補助金を活用し、合併特例債事業として実施しております。維持管理費を含めた今後の管理につきましては、現在のところ未定となっておりますが、今後の協議の中で、県に対しまして協力をお願いする最重要事項であります。</p> <p>トンネルが完成しますと、安全及び安定的な交通が可能になり、日常生活の利便性が向上するとともに、災害時の輸送や東西交流の促進、また桜川市の観光振興等につながる路線として期待されています。</p> <p>今後とも、ご理解、ご協力をいただけますようお願いいたします。</p>
2	『合併特例債事業』の選定経過、事業内容、進捗状況、債務返済など詳細な内容について市報やホームページを利用して継続的に公開し、本計画に位置付けていただきたい。	1 件	<p>合併特例債事業につきましては、新市建設計画にて位置づけを行っているところであります。</p> <p>ご意見をいただきました地方債の活用状況等の公開につきましては、合併特例債事業のほか、様々な地方債を活用して事業を行っておりますので、他自治体を参考にしながら、関係課と協議・検討いたします。</p>

○ 文化財の活用 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	『課題 複数の文化財を繋ぐ物語性』について、繋ぐ事例として城下町→陣屋町→在郷町に至る都市の重層的構造、町の形成過程の観点から、歴史的風致地区内にある真壁城址、伝建地区の連携強化による歴史を活かしたまちづくりをお願いします。	1 件	<p>具体的な提案をいただきありがとうございます。真壁地区においては、真壁城跡と伝統的建造物群保存地区との連携を念頭におき、今後、策定を目指す文化財保存活用地域計画にも活かしてまいります。</p>

2	『真壁城案内ボランティアの育成』について、前期基本計画からの継続をお願いします。	1 件	真壁城案内ボランティアの育成について、継続のご意見をいただきありがとうございます。各種文化財関係ボランティア団体の結成や活動を促進する事業の中に真壁城の案内を行うボランティアも含まれますので、継続して取り組んでまいります。
---	--	-----	---

○ 防災計画 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	『伝建地区防災計画の推進及び伝統的建造物の耐震補強の推進』について、伝建地区は木造建築が多く、密集していることから、将来想定される茨城南部地震、首都直下地震、南海トラフ地震に備え、東日本大震災を教訓に学校区単位の地区防災計画とは別に、早急に伝建地区防災計画を作成する必要があります。また、伝統的建造物の耐震補強を推進してください。	1 件	伝建地区の防災計画についてであります。防災担当部局の防災課と伝建地区担当部局の都市整備課との間で地区の特性等について協議しながら、学校区単位の防災計画の中に位置付ける予定です。別々に計画を作成しない理由としては、誰にでも分かりやすく実効性のある計画を作成したいと考えているためです。 伝統的建造物の耐震補強については、伝統的建造物の所有者等から修理等の相談を受けた際には、耐震補強工事を推奨しているところです。

○ 観光の振興 について

No.	意見概要	意見数	市の考え方
1	『課題 筑波山地域ジオパークによる新たな観光客の誘致を進めること』について、ジオパークの取り組みは、令和3年度施政方針にも記載されております。前期基本計画からの継続として記載してください。	1 件	ご提案をいただきありがとうございました。筑波山地域ジオパークについて明記し、観光客の誘致を進めるうえで、地域資源を活用した取り組みをPRの一環に結び付けていくことといたします。
2	『観光まちづくりの実践』について、桜川市地域 DMO の推進。観光資源の掘り起こしと活用が必要であり、DMO を継続して記載してください。	1 件	ご提案をいただきありがとうございました。桜川市では、地域 DMO の設立に向けて検討を進める中で、昨年2月に地域商社を設立しました。 「観光まちづくりの実践」の後期計画としまして、観光資源の掘り起こしと活用を推進するためには、地域活性化に力を注ぐ人材の育成が特に重要と考えております。

■修正の内容

○ 観光の振興 について

修正前	修正後
第3編 第4章「4-3 観光の振興」における課題部分への記載なし。	課題部分に、「筑波山地域ジオパーク」を追記することにより、「観光客の誘致を進めるため、上野沼やすらぎの里キャンプ場・筑波高原キャンプ場、筑波山地域ジオパークやつくば霞ヶ浦りんりんロードを活用し、魅力ある場所の整備・PR が必要です。」とします。